

愛するペットのために！

## ペット保険の選び方ガイド

「ペット保険は気になるけど、どうやって選んだらいいの？」  
と悩んでいる方に向けて、ペット保険を選ぶための  
診断チャートをご用意しました。  
いくつかの質問に答えて、最適なペット保険を見つけましょう！

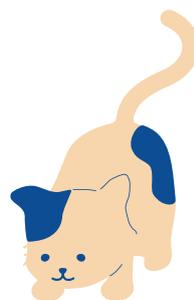
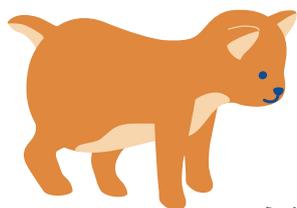


次のページで、診断チャートをやってみましょう！



\ **START!** /

ペットの年齢は  
若い方(0~2歳)だ



いいえ

はい

ペットの  
万が一に備えて  
貯蓄をしている

ペットが好奇心旺盛  
なのでケガが心配だ

いいえ

はい

はい

いいえ

手術補償に特化し、  
通院補償はなくても  
構わない

保険料の安さよりも、  
動物病院での診療費の  
自己負担が少ない  
ことを重視したい

いいえ

はい

はい

いいえ

**A**タイプ



**B**タイプ



**C**タイプ



この結果は、一般的なペット保険会社の補償プランです。

## A 通院から入院・手術までしっかり補償タイプ

通院から入院・手術まで幅広くカバーするタイプで、補償割合は70%であることが多いです。月々の保険料は高めになりますが、普段の通院から、高額になりがちな手術費用まで、備えたい方におすすめです。

## B 通院から入院・手術まで補償し、保険料とのバランスタイプ

Aタイプと同様、通院から入院・手術まで幅広くカバーし、補償割合は50%であることが多いです。補償割合が下がるため、診療費の自己負担は増えます。しかし月々の保険料はAタイプより抑えられるため、補償と保険料のバランスを重視する方におすすめです。

## C 手術特化で保険料重視タイプ

ペット保険会社によって、手術と手術を伴う入院を補償する場合や、手術のみを補償する場合などがあり、通院は補償対象外となることが多いです。保険料は一番抑えられる傾向があるため、高額になりがちな手術費用にだけ備えたいという方におすすめです。

## まとめ

まずは「通院補償の有無」「補償割合」「保険料」を確認しましょう。この診断はあくまで目安です。大切な家族のペット保険選びの参考にしてください！